

安全だより

第 53 号

◆発行
令和 6 年 6 月 28 日



公益社団法人
下松市シルバー人材センター
安全委員会

全国統一安全スローガン

安全は 無理せず焦らず 油断せず

コラム 蜂に注意！

蜂は防衛本能が強く巣を守ろうと威嚇し時に刺す行動に出ますが必要以上に巣に接近したり刺激を与えなければ刺しません。活動時期はGWから10月末、黒色で動くものに反応するので就業時の黒服、ひらひらした服は避けましょう。蜂に刺されてもアレルギーがなければ刺された箇所が痛み熱をもち、腫れかゆみが数日続きますが完治します。

蜂毒アレルギーがあると吐き気、腹痛、じんましん息苦しさなどの複数の症状があらわれアナフィラキシーが起きます。さらに急な血圧低下、意識障害などのアナフィラキシーショックへ悪化します。

特に近年に2回目刺されると、初回刺されたことで体内に抗体ができていることからアナフィラキシーショックの危険度がアップします。

救急車の要請など適正な対応をお願いします。



夏が来ました！ 熱中症予防のために

からだの蓄熱を避ける

通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用する。保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす。

こまめに水分を補給する

室内でも、屋外でも、のどの渴きを感じなくても、こまめに水分・塩分、経口補水液などを補給する。

シルバー保険の内容を 確認しておきましょう



通院	1日あたり 最高3,000円	事故の日から 90日を限度
入院	1日あたり 最高4,500円	事故の日から 180日を限度
死亡	最高500万円	180日以内にその事故が 原因で死亡した時
後遺症	最高500万円	保険会社の査定で決まる
損害賠償	最高1,000万円	業務遂行中に発生した損害 免責3万円（センター負担）

コラム 高齢労働者の安全と健康 (人の機能編)

世間では、『人生100年時代』と叫ばれ寿命が延びると共に働く高齢労働者は増加しています。

特に第3次産業に増加が目立ち、高齢者は若者・中堅者に比べると加齢により、知覚能力が年々低下するなか労働しています。

人間の体の中は、機能ごとに分業して動作をしており、酸素を取り入れ二酸化炭素を排出する呼吸器、酸素や栄養や老廃物を運ぶ循環器、食物を消化・吸収する消化器、更に、自分の体を自由に動かす事が出来るのは、骨・筋肉や神経で構成される運動器の働きによって行動出来ます。

それに対して、高齢者は老化と共に複数に渡り障害が起こりやすく、立つ・歩くといった機能が低下してくる。この状態をロコモティブシンドロームといい初期症状としては平衡感覚がとりにくくなったりします。

現在、医学の発達により人の構造・症状が急速に解明されて来ていますが行動する活力を養う為には、生活の基本である栄養バランスの取れた食事、程よい運動、目覚めの良い睡眠を日課とすることが肝要です。

親から授かった大事な体、シルバー人材センターで技術の伝承・新規の仕事のチャレンジ等に挑み、楽しく人生精一杯に生き抜いて、悔いのない健康寿命な毎日を送りましょう。



令和6年度 ★安全・適正就業推進大会★ を開催します！

7月12日 (金) 10:00~11:30

スターピアくだまつ 2F 展示ホール

★講演 あなたの睡眠どう快寝？！
～質のよい睡眠で翌日すっきり！～

講師 山口県東部ヤクルト販売株式会社
管理栄養士 藤田恵美子

★講演 「人権について」

講師 下松市生涯学習推進課
社会教育主事 木村太亮

何をするにも身体が資本！
睡眠は健康の根っこです！

